

令和3年度 第1回

～資料に親しむ会～

画譜に親しむ

～江戸時代の絵手本・いろいろ～

京都府立京都学・歴彩館 資料課 藤本 恵子

開催日：2021年4月13日(火)

時間：14時～15時

会場：京都学・歴彩館1階 小ホール

定員：30名（事前申込不要、13時30分開場）

中国から渡来の「画譜」は主に
絵手本として利用されました。
江戸時代には、その需要の高
まりと木版刷りなどの技術の
発展によって日本でも盛んに
刊行されるようになります。

今回は当館で所蔵する
江戸時代の出版物から、
しゅんぼく たちばな もりくに
大岡春卜や 橘守国などの
絵師の画譜をご紹介します。



『明朝紫硯』（大岡 春卜画）